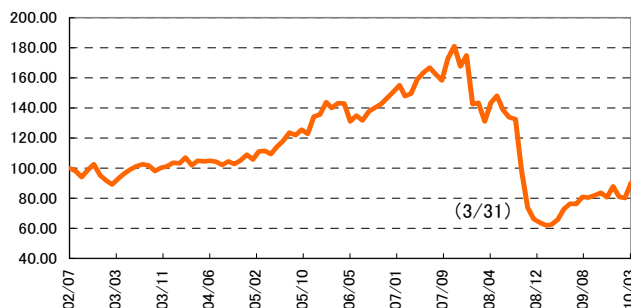


2010年3月末

# グローバル株式型

主に世界各国の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。原則として、為替ヘッジは行いません。  
 MSCI WORLDインデックス(注)を上回る投資成果を目指します。  
 (注) MSCI WORLDインデックスとは、MSCI Inc.が提供する指数で、日本を含む主要各国の株式を包括的に表した指数です。

## ユニット・プライスの推移



ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点を「100」として数値化したものです。

## ユニット・プライスの収益率

収益率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
グローバル株式型	12.46%	2.69%	10.19%	37.48%	▲39.65%	▲19.04%	▲9.76%
グローバル株式型 (※保険関係費用控除前)	12.60%	3.09%	10.98%	39.08%	▲34.85%	▲11.04%	2.52%

## 特別勘定資産内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
現金・その他	56	0.5
預金		
投資信託	11,848	99.5
合計	11,905	100.0

# グローバル成長株ファンド

【参考】主な投資対象の投資信託の運用状況(出所:日興アセットマネジメント株式会社)

### <基準価額の騰落率>

	1ヶ月	3ヶ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
グローバル成長株ファンド	12.67%	3.11%	11.12%	39.84%	▲36.88%	▲1.18%
MSCI ワールドインデックス	11.17%	3.00%	10.06%	43.52%	▲37.55%	0.73%

\*当ファンドの設定日は2001年10月2日です。

### <株式組入上位5ヵ国>

1	アメリカ	50.1%
2	イギリス	9.7%
3	日本	9.1%
4	ドイツ	4.4%
5	香港	4.2%

### <株式組入上位10銘柄(銘柄数79)>

	銘柄	通貨	業種	比率
1	CISCO SYSTEMS INC	アメリカドル	通信	2.9%
2	APPLE INC	アメリカドル	コンピューター	2.8%
3	ORACLE CORP	アメリカドル	ソフトウェア	2.6%
4	BHP BILLITON PLC	イギリスポンド	鉱業	2.0%
5	GOOGLE INC-CL A	アメリカドル	インターネット	2.0%
6	TEVA PHARMACEUTICAL INDUSTRIES LTD-SP ADR	アメリカドル	医薬品	1.8%
7	ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	スイスフラン	医薬品	1.7%
8	XSTRATA PLC	イギリスポンド	鉱業	1.7%
9	AMGEN INC	アメリカドル	バイオテクノロジー	1.5%
10	STANDARD CHARTERED PLC	イギリスポンド	銀行	1.5%

### <資産構成比>

1	国内株式(先物含む)	9.0%
2	外国株式(先物含む)	88.7%
3	CB	0.0%
4	公社債	0.0%
5	現金その他	2.3%

### <運用コメント>

米国市場は、雇用統計の底堅い内容を受けて景気先行き不透明感が後退するなか、FRB(米国連邦準備制度理事会)の低金利政策の継続見通しも支援材料となり、上昇基調となりました。下旬に入り、医療保険改革法案の成立見通しを背景にヘルスケア株などが物色され、上昇幅を拡大する局面もありましたが、月末にかけては、為替市場でのドル高や米長期金利の上昇などに圧迫され、上値が重くなりました。欧州市場は、ギリシャが財政赤字削減に向けた追加措置を発表し、同国の財政不安が和らいだことなどから上昇基調で推移しました。下旬には、EU(欧州連合)首脳会合のギリシャ支援に向けた合意見通しなどを受けて、一段高となりました。

このようななか、ボトムアップによる銘柄選択に基づき、情報技術セクターの銘柄などを積み増した一方、一般消費財・サービスセクターの銘柄などを一部売却しました。情報技術セクターでは、韓国大手家電メーカーを新規購入しました。同社は、メモリーとLCDテレビの製品価格が堅調で、高い利益率と力強い収益成長をもたらすと思われます。一方で、一般消費財・サービスセクターでは、株価が目標準に近づき他の投資機会と比べて上値余地が限定的と判断して、高級アクセサリ・ギフトの会社を全株売却しました。

3月末現在、ベンチマーク対比でオーバーウェイトとしているセクターは情報技術、一般消費財・サービス、素材、対してアンダーウェイトとしているのは金融、生活必需品、公益事業です。

今後も銘柄選定ならびにセクター選定を重視し、世界のリーディング・カンパニーの経営陣との面談を続け、社内のリサーチ資源を幅広く活用し、徹底的なボトムアップ調査を行なっていきます。世界的な競争力を有し、地域市場におけるリーダー格の、質の高い成長型企業を選別し、投資を行ないます。

当資料に関する「ご注意いただきたい事項—大切なこと」を5/5ページに掲載していますので必ずご参照ください。

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。